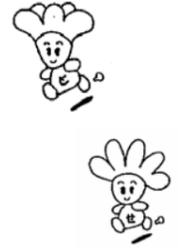
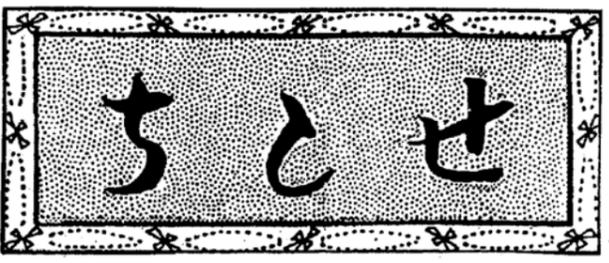


発行・編集 ミニコミ編集委員会
責任者 齋藤和子
事務局 船橋まちづくりセンター
電話 3482-0341
ファックス 5490-7031
2011. 7 No.91号



まちの目が
安全・安心を守っています
船橋地区町会・自治会連合会
船橋地区身近なまちづくり協議会
青少年船橋地区委員会/成城警察署/成城協成協会



「人と人とのつながりを - 近隣の方たちと話してみませんか」

デイズニーランドで過ごした一夜

船橋中学校 校長 徳永 啓介

東日本大震災当日、3年生は、東京デイズニーランドに行っていました。
施設内では、安全確認のため、来園者は全員アトラクションの外で待機することになりました。長時間の待機で寒い思いをしましたが、確認後、園内のアトラクション内が開放され、パン、ご飯、温かいスープ、コーヒーなども随時提供され、支給された防寒シートに包まり一夜を明かしました。
翌朝、JR京葉線は運休、東西線は浦安駅までシャトルバスが出るという情報が入り、大半の生徒は東西線経由で午前中には帰宅できました。しかしその後、東西線も運休になり、シャトルバスもストップしたため、最後の15人のグループは、新木場まで1時間30分歩いての帰宅となり、最終グループの解散は千歳船橋駅12日の午後2時30分でした。

震災。その時 3.11



家族・学校・地域で 震災に負けない きずなを未来につなごう



R.S

東日本大震災により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた皆様とそのご家族に心からお見舞いを申し上げます。

3月11日の東日本大震災で、皆様はどのような経験をされましたか。ご家族は、お隣の方は、学校は、地域は、どのような対応をされたのでしょうか。ミニコミ「ちとせ」では、お互いの経験を語り合う中から、震災に強い街づくり、震災に負けない人と人とのつながりについて考えていきたいと思えます。今号では、各学校の対応、民生委員の方々の活動、要援護者避難支援プラン等についてご紹介します。

東京タワー見学中止・学校では…

希望丘中学校 校長 直田 益明

当日、私は当時の3年生の生徒や教員とともに、貸切バスで卒業遠足に出かけていました。都心の道路を最後の見学地である東京タワーへ向かっている時に突然、地震の大きな揺れに遭遇しました。車窓の外では、電柱や街路樹が大きく揺れ、立体交差の首都高速が崩れ落ちるのではと思うほど揺れていました。すぐに学年主任と相談し、東京タワーの見学中止して至急、帰校することになりました。その判断の速さが功を奏してか、渋滞しかけていた都内の道路をうまく通り抜けることができ、午後6時前には帰宅することができました。あの状況の中で、安全に生徒たちを家庭に帰すことができて本当に良かったと、ほっとしたことを覚えています。
一方、学校にいた1・2年生も、教員の指示で冷静に避難し、その後、教員が学区を見回す中、集団下校しました。教職員一同、日頃の訓練がいかに大切かを再認識しました。

児童80名とアルファ米の夕食

船橋小学校 校長 小島 誠

3月11日、船橋小学校では、保護者の方に子どもたちを安全に引き渡すために、学校として最後までおあずかりするという方針で引き渡しを行いました。
電話やメールも機能せず、また、交通機関も止まるという事態の中で、結果的には午後6時の時点で、引き渡すことのできない子どもたちは約80名。防災倉庫にあるアルファ米や缶詰のおかゆ、乾パンで夕食をとることとなりました。また、ある保護者の方が、差し入れを届けてくださいました。
夜の9時を過ぎても、引き渡せない子どもたちが30名近くおり、防災倉庫から毛布を出し、男女分かれて宿泊する準備をしました。夜中にかけて、次々と保護者の方が引き取りに來られ、最終的には3名の子どもたちが朝まで宿泊することになりました。保護者の方からは「子どもが学校にいるという知らせを受け、すぐ行くことができずでしたが、安心でした。」とお声をいただきました。



避難訓練の直後に…

千歳台小学校 校長 つかだ としお

「これで本年度の避難訓練を終わります。みんなよくできました。でも、これは避難訓練のごっこです。大地震は、突然来ます。今日の午後来るかも知れない。皆さんは、そんな時でも、きちんと出来ますか？」と聞くと、全員「大丈夫です!」との返事が返って来ました。
その日の午後、東日本大震災が発生しました。
心の動揺や悲鳴は出たものの、午前中の避難訓練と同様に、整然とした校庭避難が完了しました。そして、次々と学校に迎えに来る保護者に引き渡し、避難訓練場所を校庭から、家庭科室、ログハウスおよびボツプ室と移動し、刻々、避難残留状況を一斉メールで伝え、引き渡し完了メールを送信したのが深夜の11時55分でした。
最後まで担当が付き添いましたので、学校に泊まった教員が4名。途中で、保護者の方からボツプにご飯が届けられたり、職員室には「先生方へ」とパンの差し入れがありました。それはすべて子どもたちの口へと運ばれましたが、心強くありがたいことでした。
本年度はほとんどの訓練を、予告なし(教員にも知らせない)で行う予定です。

訓練の成果を感じた保護者の行動

希望丘小学校 校長 千葉 秀一

あの日、私は午後3時開始の区立小学校長会に向かうタクシーの中で、あの大きな地震に遭いました。車体は大きく揺すられ、電柱や信号機、建物が上下左右に大きく揺すられている情景を目の当たりにしました。そのまま戻りましたが学校では今どうなっているか心配でたまりませんでした。
すでに学校には自主的な判断、または口コミで児童を引き取りに訪れた保護者、家族の方が数多くいらしていました。電話等の通信が途絶されている中で、その行動力に敬服するとともに、引取訓練の成果が現れていると感心しました。
不幸中の幸いで、子どもが涙ぐむほど揺れた割には、学校としては人的被害は全くなく、物損も最低限にとどまりました。しかし、その後の原発事故なども含めて、子どもたちの心に残った不安感は大きく、想定していなかった事態も数多く発生しました。それら解決すべき課題をきちんと整理し、保護者・地域の方々のお知恵も拝借しながら、今後の災害発生時への対応方法を再確認していきたいと思っています。

自治会でとrikくお「災害時要援護者避難支援プラン」

フレール西経堂自治会

「災害時要援護者避難支援プラン」は、自然災害の際に、自力での避難が困難な高齢者・障害のある方に対する支援を基本に考えた施策です。災害時には、自分の身は自分で守る「自助」のほか、地域の人々による「共助」、行政・消防・警察・自衛隊等による「公助」によって、被害を軽減できます。

区では、平成19年3月より、町会・自治会・民生委員・児童委員などの支援者に「災害時要援護者名簿」を提供し、「災害時要援護者」の避難対策に取り組んできました。名簿の作成・配備・取り扱いについては協定の中で定められており、町会・自治会等への個人情報の提供に同意を得た方のみを登録し、名簿管理責任者の区への届け出などが遵守事項となっており、登録された個人情報は厳密に守られています。

さて、船橋地区で唯一、この制度に取り組んでいる「フレール西経堂自治会」の活動をお伝えします。先日の震災の時には、自治会長が集会所に避難場所を開設するとともに、役員がすぐに要援護者の安否確認をしました。登録している世帯を、一世帯ずつ安否確認をして回りました。幸いに、大きな被害はありませんでしたが、この制度に対する取り組みの大切さを痛感しました。また、自治会では、「情報伝達」「安否確認」「避難誘導」の対策も含め、災害時避難マニュアルを確立し、各世帯に冊子を配布するなど、安心・安全の確保のため、災害対策について真剣に取り組んでいます。

※ 詳しく知りたい方は、区のホームページの「災害時要援護者避難支援プラン」をご覧ください。



地域のお知らせ		
・ 希望ヶ丘団地盆踊り	7/16(土)/17(日)	希望ヶ丘団地
・ ふなっこまつり	7/16(土)	船橋小学校
・ 千歳台廻沢盆踊り	7/23(土)/24(日)	千歳台廻沢神社
・ ちとふなまつり	7/24(日)	千歳船橋駅前広場
・ 駅前盆踊り	8/20(土)	千歳船橋駅前広場
・ フレール夕涼み会	8/21(日)	フレール西経堂第1集会所
・ 野外映画祭	8/21(日)	船橋中学校校庭
(青少年地区委員会)		

センターからのお知らせ	
・ 人事異動 まちづくり担当係長 鈴木 敦	
・ 東日本大震災 義援金 123,526,717 円(～5月30日までの総計)	
・ 支援金 6,327,018 円(6月17日現在)	
・ 日赤社資(会費)募集結果 2,665 件 1,729,546 円	
・ 皆様方の暖かいご支援・ご協力を、ありがとうございました。	

区では最大使用電力から15%以上の削減を目標に、節電に取り組めます。また区民、事業者の皆様のご協力も必要となります。仕事や生活等の暮らしの中で、一層の節電にご協力をお願いします。

☆☆編集後記☆☆
3月11日の東日本大震災は日本だけでなく、世界中がいろいろに考えさせられる災害でした。3ヶ月を過ぎた今、私たちは謙虚に生活の見直しをと思います。被災者に義援金、支援物資、ボランティア等を役立ててもらいたいと、世界中から応援が寄せられています。少しでも被災地の復興となり日常を取り戻していただきたいと紫陽花の咲く梅雨空に心より祈ります。
ミニコミ「ちとせ」に、ご意見をお寄せください。(S)



震災時 民生委員の対応

船橋地区民生児童委員協議会

船橋地区の民生委員にとって、今回の大きな地震は初めての経験でした。地震後、民生委員は、担当地域の一人暮らし高齢者や高齢者世帯を訪問したり、電話連絡して安否確認をしました。被害状況については、食器等が割れたなどの被害を受けた方はいましたが、幸いにもお怪我をされた方はいませんでした。日頃から高齢者世帯の見守りをしていただいていたのが役立ちました。

高層住宅の民生委員の方は、自治会が組織した「お助け隊」に協力しました。すべての高齢者世帯を訪問するのは難しいので、ガスメーターのボタンが点滅している世帯を中心に訪問しました。立会いの上メーターを復帰し、割れた食器類を片付けたり、余震に備えてテレビをガムテープで固定しました。

今回の地震で多かった相談は、ガスメーターの復帰の仕方でした。ガスが止まったことに気づけなかった方や、元に戻す操作方法が判らない方が、民生委員、自治会、マンションの管理人等にSOSを出したようです。ガスメーターの復帰は、高齢者にとってマニュアルの文字が見えにくかったり、ボタンを押そうとしても力が弱かったりして、なかなか難しかったようです。

地震で止まったエレベーターの前で途方に暮れていた車椅子をご利用の方を、通りかかった方が車椅子ごと階段を上げてくれたそうです。地域の絆を感じました。

また今回は電車が止まり、電話が通じにくくなりました。もし東京で大地震が起きたと仮定すると、こうした交通や通信のほかに、電気、ガス、水道なども含めたインフラの途絶は、大きな課題になります。今後折りに触れて対策を考えておかなければならないでしょう。

被災地支援については、船橋地区民生児童委員協議会として地震直後に義援金を送りましたが、今後も11月までに行われる行事やイベントを通して、さらなる支援金を呼びかけていきたいと思ひます。

船橋会 会長就任挨拶	船橋会 会長 佐藤 四郎
齋藤前会長より会長職を退任したい旨申し出があり、船橋会会則に沿って私が新会長に就任することになりました。前会長は町会事業の拡大に積極的に係わり素晴らしい成果を挙げられました。在任時のご苦勞に感謝申し上げます。	
私は、引き続き安心・安全のまちづくりを推進して行くために、特に次のことに注力したいと思います。①防災対策の強化 ②学校との連携強化 ③駅前広場の活用拡大 ④駅周辺の歩行喫煙禁止の区域設定	
上記活動を遂行するために町会の皆様のご支援・ご協力を賜りたいと存じます。よろしくお願ひします。	

大東学園 第9回 公開研究会 ～三者でつくる学校～	
生徒・保護者・教職員の三者が本音で話し合う「三者協議会」を体験してみませんか。開かれた学校としての大東学園を是非、地域の方々にも見ていただきたいと思ひます。	
開催日	7月17日(日) 午前9時受付開始、午後4時終了予定
場 所	大東学園高等学校
申込締切日	7月11日(月)
申込先	大東学園高等学校 公開研究会事務局 電話03-3483-4101

東日本大震災発生直後の千歳丘高校の対応
都立千歳丘高等学校 生活指導部主任 会津 伸

3月11日、ほとんどの人が初めて経験する大きな揺れを感じました。当日卒業式があり、この時間は、卒業生と先輩を送り出す在校生約30人が学校にいました。

身の安全を図るために、校庭に避難し、その後は、情報の収集に奔走してました。電車の復旧の目的がたらず、保護者との連絡も一切つかない状況で、備蓄庫の毛布や食料の準備を始めました。また、東京都指定の帰宅支援ステーションに指定されていたので、最終的に20名弱になり、生徒・職員、2名の一般の方(帰宅困難者)が本校で一夜を過ごすことになりました。様々な課題がみえた震災でした。

三者(生徒・保護者・教職員)による震災対応
大東学園高等学校 教頭 北原 和子

試験休み中で、部活や補講で約120名の生徒が登校してました。校庭に避難した後校舎内に入り、徒歩・自転車組から帰宅して行きました。結局20名程が学校に泊まり、全員が下校したのは翌朝9時でした。各人の災害用品の中に入っているエマージェンシーブランケットや、体育のマット、福祉実習室の布団などを利用して寝ました。また非常食にはお湯がとても役立ちました。三者でつくる学校を目指す大東学園は、こうした事態の中でも保護者と連絡をとり、相談の上で帰宅を促しました。校内の様子を伝えるのには、本校ホームページを活用しました。